

# 前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第44号(平成27年度第1号)

H27. 4. 17

## 前芝中生のさらなる成長を誓って

～ 施設・設備の充実を追い風に、中身で勝負の前中生に ～



4日7日。曇り空を吹き飛ばすような笑顔の45名の1年生を迎えて、真新しい体育館で挙行した入学式をスタートに、平成27年度の前芝中学校が船出をしました。

一人一人名前を呼ばれたときの返事と、話を聴く姿勢が素晴らしかった1年生。そして後輩を迎えた2、3年生85名の歓迎の姿にも心温まるものがあり、前芝中学校の前進への確かな息吹を感じました。非常勤講師やALTの先生8名を含め、全27名の教職員も、常に「子供にとって、先生は家族と同様、いちばん身近な生きるお手本」と意識し、持ち味を生かして協力し合い、高め合う教職員集団として、“前芝の子供たちの今と未来のために”をモットーに教育活動にあたっていきます。保護者や地域の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動にご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

豊橋市立前芝中学校長 谷中 緑

### 【 前芝小・前芝中 平成28年度の施設隣接型小中一貫校に向け、準備の年に 】

本校は平成25年度より3か年計画で、施設一部一体型の新生「前芝小学校・前芝中学校」に向けて、校内の施設や運動場の整備等が行われてきました。その中で、去る3月の体育館・武道場（躍進館）・技術室棟の竣工に際しましては、保護者の皆様や地域の皆様の多大なご支援、ご協力が備品の充実や式典の盛会に繋がり、心より厚くお礼申し上げます。

今年度は、旧体育館とプールの解体、運動場の整備と小中共用正門の建設等が予定されています。こうした中、一部新聞にも報道されましたが、平成28年度には「施設隣接型小中一貫校」となる旨、教育委員会より話がありました（現在、愛知県内の公立学校には小中一貫校が2校あります）。前芝小中では、平成23年度にすでに小中連携教育の研究発表をした実践を、現在も発展させていますが、今後も“すべては前芝の子供たちのために”授業や行事等の教育活動において、小中連携のさらなる充実を図り、子どもたちをより長いスパンで、そして、小中職員のより多くの目で見守り、育てていくことが重要だと感じております。

なお、今年度も専門的な授業という点で、音楽・図工・英会話で中学校教諭が小学校で授業を行います。特に音楽の伊原佳子先生は、授業だけでなく小学校の入学式などのための歌唱指導をするなど、小中連携授業推進教諭として小中連携のパイプ役を担っていただきます。

### 【 新2年生 学級編制の弾力的運用で、39人で2学級に 】

通常、生徒数を基に文科省・県教委で定められた教員数で学校運営をしていきますが、「学級編制の弾力的運用」という法制度を活用し、願いを添えて豊橋市教育委員会に申請しましたところ、新2年生は39人で本来は1学級のところ2学級で編制することを、正式に認められました。少人数による学級編制の良さを生かして、よりきめ細やかな教育を推進していきます。